

未踏研究会について

一般社団法人未踏 - Mitou Foudation 常務理事 荒川 淳平

IPA「未踏事業」について

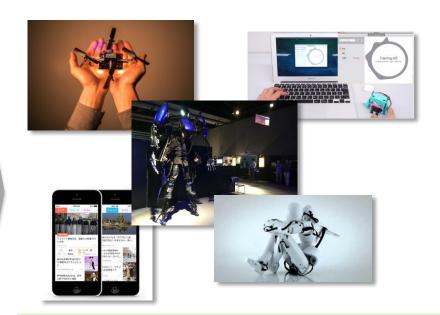
▶ 未踏事業はIPAが2000年から行っている天才発掘のための国家プロジェクトで延べ1600人もの優秀な人材を発掘してきており、各界で活躍されております。

未踏事業のコンセプト



日本にAppleやGoogleのような企業を生み出すために、スティーブ・ジョブスやイーロン・マスクのような人材を発掘し支援する国家事業

未踏事業の成果



WEBサービス、ソフトウェア、AI、ロボティクス、メディアアートなど様々な分野で第一線で活躍する人材を1600名発掘し、多くのベンチャー企業が設立された

未踏出身者事例

Gunosy

グノシーは情報キュレーションサービスです。 ネット上に存在する様々な情報を独自のアル ゴリズムで収集し、評価付けを行い、ユー ザーに届けます。

- 通算750万以上のダウンロード
- 10億を超える資金調達



Skeletonics

動作可変型スーツ「エグゾネクス」を完成させることを目標に活動。

- 紅白等各種テレビ出演
- 遊園地などに向けて出荷



未踏社団について

▶ 名称: 一般社団法人未踏(英語表記: Mitou Foundation)

▶略称:未踏社団

▶ 設立: 2014年11月18日

"一般社団法人未踏 (Mitou Foundation) は、 未踏事業関係者を中心に**創造的人材同士の交 流の促進、創造的キャリアの支援**、そのため のインフラ整備整備を行うことで日本および 世界のイノベーションを加速させより良い社 会を創造することを目的とした社団法人です。

未踏社団の活動ビジョン

日本版イノベーション・エコシステム創造

イノベータ・イノベーション人材 およびシーズの適切な発見

支援 発掘

シーズをソリューションにするために 必要な支援を実施

2015年度は、6つの事業を進め 『日本版イノベーション創造サイクル』 を創り出すことを目標としています

成長

ソリューションが 破壊的イノベーションを起こすまで の成長プロセスを支援

会員再発掘事業

会員交流・情報発信事業

起業支援事業

人材・企業マッチング 促進プログラム

マッチング促進事業

新規事業支援事業

新規事業アクセラレー ションプログラム

研究会運営事業

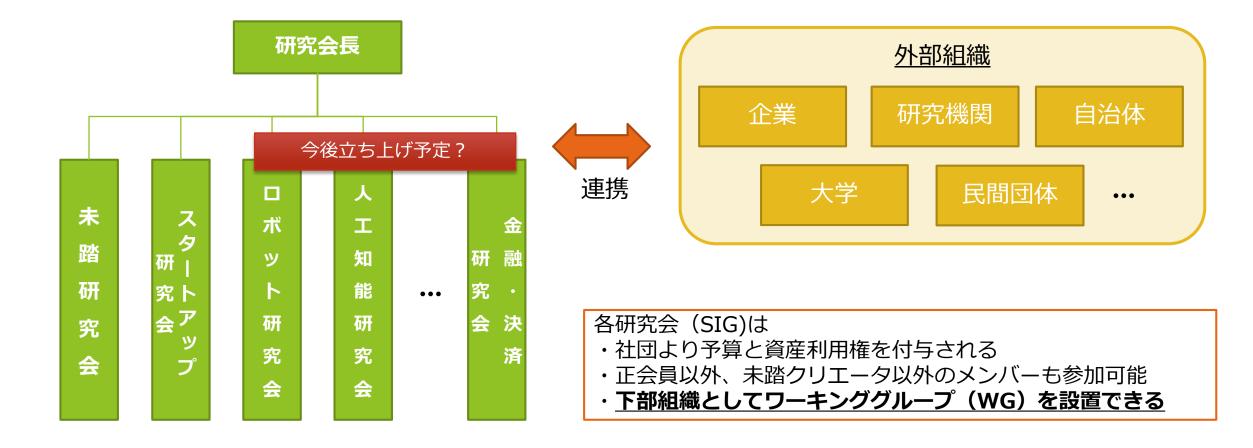
研究会運営プログラム

未踏人材発掘・交流プログラム

スタートアップ促進 プログラム

研究会運営プログラム

- ▶ 業界横断的な人材交流と新たな知見によるシーズの発見を目指す
- ▶ 課題解決をゴールに社団を通じて外部組織とも積極的に連携を行う



未踏研究会の位置づけと狙い

- ▶ 未踏研究会の目的は研究活動の促進
 - ▶ 他の研究会はそれぞれの専門テーマについての研究が目的
 - ▶ そのために設立が容易で小回りの効くワーキンググループを活用する
- ▶ "未踏的"研究組織のメリット
 - ▶ 既存の枠・カテゴリや仕組みに囚われないテーマ設定・活動が可能
 - ▶スーパーニッチ、超マニアック、超具体的、興味関心指向、学域横断的、...
 - ▶ 組織横断的で多様な人材にリーチ出来る
 - ▶大学・研究機関、大企業、ベンチャー企業、...

未踏研究会は研究会のインキュベーションプログラム

研究会とワーキンググループ

- ▶ 双方に共通して社団から提供されるもの
 - ▶ Office365上のグループ (ML+ファイル共有等)
 - ▶ GitHubレポジトリ
 - ▶ ウェブサイト(mitou.orgドメイン、GitHubレポジトリ連動)
- ▶ 研究会とワーキンググループの主な違い

	研究会	ワーキンググループ
存続期間・継続単位	基本2年間	基本1年間
設立時の審査	書類+プレゼンテーション	書類のみ
予算	申請可能	所属研究会により規定
社団資産の利用	申請可能	所属研究会により規定

ワーキンググループの作り方

- ▶ Step1: 未踏研究会のサイトから申請書(Excel)を取得する
 - https://github.com/mitou/sig-mitou/wiki
- ▶ Step2: 必要事項を記入する
 - ▶ 名称や活動目的など
 - ▶ 正会員を3名以上含む発起人の氏名
- ▶ Step3: 未踏研究会の代表(荒川)に申請書をメールで送る
 - ▶ jarakawa@mitou.org
- ▶ Step4: 書類審査を通過後、無事に設立完了
 - ▶ Office365グループやGitHubレポジトリ等が提供されます

未踏研究会自体のテーマと活動

- ▶ どうすれば研究会やワーキンググループの活動が活発になるか?
- ▶ どうすればより多くの活動成果を社会に還元できるか?

▶活動内容:

- ▶ 活性化のための仕組み(合宿?ハッカソン?グループウェア?)の研究
- ▶ 社会還元のための仕組み(外部組織との連携?標準化・提言?)の研究
- ▶ 実際の研究会やWG活動で得られた経験やノウハウの共有・体系化

未踏研究会の活動には研究会やワーキンググループの存在が不可欠です!